

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		中小企業事業資金関係事務						事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続						継続		事務事業No.	040202000529
総合計画の施策名		単独/補助						単独		所属課	050301
政策名		04   活力ある産業のまちづくり								課長名	商工観光課
施策名		02   商工業の振興								グループ	商工観光グループ
手段名		02   ②商工業の経営基盤強化								担当者名	
財務会計上の位置付け		事業期間									
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
							単年度繰返し (年度~)				
法令根拠	桜川市中小企業事業資金融資あっせん条例						商工振興事業				
☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入											

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
<p>①事務事業の概要（事務事業の全体像）</p> <p>【中小企業事業資金融資あっせん事業】</p> <p>桜川市内の中小企業者に対し、事業資金の融資とこれに対する保証をあっせんし、金融の円滑化を図る。</p> <p>融資までの流れ：①申請者は桜川市商工会で申請手続きを行う ②月に1回金融審査会で審査を受ける。 ③保証が決定されると信用保証協会で行う ④金融機関から融資を受ける。</p> <p>【中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業】</p> <p>自治金融・振興金融・小規模事業所等経営改善資金を利用した商工業者に対し、融資に係る保証料及び利子の補給を行う。</p>	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>①商工会と事務委託契約の締結 委託料の支払 ②経済部長及び商工観光課長が金融審査会委員として、毎月の審査会に出席 ③1月～12月の申請者（利子補給・保証料助成対象者）の報告を受ける④助成決定者への支払い</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①商工会と事務委託契約の締結 委託料の支払 ②経済部長及び商工観光課長が金融審査会委員として、毎月の審査会に出席 ③1月～12月の申請者（利子補給・保証料助成対象者）の報告を受ける④助成決定者への支払い	審査会開催回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	申請件数	件	71.00	33.00	70.00	70.00	70.00
	申請金額	千円	38,970.00	38,000.00	38,000.00	38,000.00	38,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市内中小企業者	市内事業者数 (従業員4人以上の事業者)	社	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
中小企業の金融を円滑にする	助成件数	件	97.00	66.00	90.00	90.00	90.00
	助成金額	千円	9,999.00	9,999.00	9,999.00	9,999.00	9,999.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円 0	0	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		使用料・手数料	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 26,726	27,500	26,500	0
	事業費計 (A)	千円 26,726	27,500	26,500	0	
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
13 委託料	500	13 委託料	9,500
19 負担金補助及び交付金	10,000	19 負担金補助及び交付金	1,000
21 貸付金	15,000	21 貸付金	14,000
23 償還金利息及び割引料	2,000	23 償還金利息及び割引料	2,000
合計	27,500	合計	26,500

事務事業名	中小企業事業資金関係事務	事務事業No.	40202000529	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和28年から茨城県内の市町村の商工政策の一環として、市町村内の中小企業の発展に寄与することを目的に、県・市町村・金融機関、そして当協会の4者が連携して設立された。 平成25年4月から運転資金の借入枠が500万円→1000万円へ、期間が5年→7年へ拡大されたため、24年度と比べて件数は2倍以上、融資金額は4倍以上になった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 商工業者の金融負担を軽減し、経営基盤の強化に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 本事業の目的である「地域商工業者の経営基盤の強化」は桜川市の基本計画に規定されており、市が行う事業として妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 事業者や融資を実施する金融機関に制度を周知することで、利用者増加の余地はある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 低利で融資を受けることができず、経営悪化や商工業の衰退につながるおそれがある。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 事務の簡素化により、人件費を削減する余地がある。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益機会は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	あっせん事務・預託・寄託について円滑に実施できているが、保証料助成及び利子補給事務については、年度末に事務が集中し支払期限が月末であるため、事務が煩雑になっている。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
成果	向上 維持 低下	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
保証料助成及び利子補給事務については、年度末に集中するため、補給事務を保証協会へ委託することで、事務負担の軽減を図ることができる。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>